

## 安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	グメリン試薬
会社名	武藤化学株式会社
住所	東京都文京区本郷2-10-7
電話番号	03-3814-5511
緊急時の電話番号	03-3814-5551
FAX番号	03-3815-4832
メールアドレス	<a href="mailto:mutopop@mutokagaku.com">mutopop@mutokagaku.com</a>
推奨用途及び使用上の制限	検査・研究用

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外	
	可燃性・引火性ガス	分類対象外	
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外	
	支燃性・酸化性ガス類	分類対象外	
	高压ガス	分類対象外	
	引火性液体	区分外	
	可燃性固体	区分外	
	自己反応性化学品	分類対象外	
	自然発火性液体	区分外	
	自然発火性固体	区分外	
	自己発熱性化学品	区分外	
	水反応可燃性化学品	分類対象外	
	酸化性液体	区分3	
	酸化性固体	区分外	
	有機過酸化物	分類対象外	
	金属腐食性物質	区分1	
	健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分1
		急性毒性(経皮)	分類できない
		急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
		急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
		急性毒性(吸入:粉じん)	区分3
		急性毒性(吸入:ミスト)	区分3
		皮膚腐食性・刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性		区分1	
呼吸器感作性		分類できない	
皮膚感作性		分類できない	
生殖細胞変異原性		分類できない	
発がん性		分類できない	
生殖毒性		分類できない	
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器)		
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器、歯)		
環境に対する有害性	吸引性呼吸器有害性	分類できない	
	水生環境急性有害性	区分3	

ラベル要素 絵表示又はシンボル	水生環境慢性有害性	分類できない
注意喚起語 危険有害性情報		
注意書き	<p>危険  吸入すると有毒  重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  重篤な眼の損傷  発がんのおそれ  呼吸器系、消化器の障害のおそれ  長期又は反復ばく露による臓器障害のおそれ</p> <p>【安全対策】  この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  換気の良い区域でのみ使用すること。  適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。  適切な個人用保護具を使用すること。  粉じん、ミスト、蒸気、ヒューム、スプレーを吸入しないこと。  取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>【応急措置】  飲み込んだ場合、皮膚(または髪)に付着した場合、吸入した場合、または眼に入った場合は、ただちに医師に連絡すること。</p> <p>皮膚又は毛に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。  汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。  吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。</p> <p>ばく露した時、又は気分が悪い時は、医師に連絡すること。  気分が悪い時は、医師の診断、を受けること。</p> <p>【保管】  施錠して保管すること。  容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。</p> <p>【廃棄】  内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>	
国・地域情報		

3. 組成及び成分情報  
化学物質

化学名又は一般名	発煙硝酸	硝酸	水
分子式	HNO <sub>3</sub>	HNO <sub>3</sub>	
CAS番号:	52583-42-3	7697-37-2	
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	(1)-394	(1)-394	

分類に寄与する不純物及び安定化添加物	データなし		
濃度又は濃度範囲	10%	32%	58%

#### 4. 応急措置

##### 吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

##### 皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

##### 目に入った場合

直ちに医師に連絡すること。  
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

##### 飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡すること。  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。  
口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
医師に連絡すること。  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

#### 5. 火災時の措置

##### 消火剤

使ってはならない消火剤  
特有の危険有害性

周辺設備に適した消火剤を使用する  
泡

火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

##### 特有の消火方法

加熱すると容器が爆発するおそれがある。  
不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。  
加熱すると容器が爆発するおそれがある。  
火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。  
消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

##### 消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

関係者以外の立入りを禁止する。

風上に留まる。

作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

低地から離れる。

適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

環境に対する注意事項  
回収・中和

密閉された場所は換気する。

環境中に放出してはならない。

不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。

## 封じ込め及び浄化方法・機材

少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で覆い更にプラスチックシートで飛散を防止し、雨に濡らさない。

除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。  
皮膚と接触しないこと。

粉じん、ミスト、蒸気、スプレーを吸収しないこと。

眼に入れないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管

接触回避

技術的対策

混触危険物質

保管条件

データなし

『10. 安定性及び反応性』を参照。

容器を密閉して冷乾所にて保存すること。

容器を密閉して保管すること。

施錠して保管すること。

容器包装材料

データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

日本産衛学会

2ppm; 5.2mg/m<sup>3</sup>

ACGIH(2007年版)

TWA: 2ppm STEL: 4ppm

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具

空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。

手の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

眼の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

適切な保護衣を着用すること。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状 形状

液体

色

無色

臭い

刺激臭

pH

強酸性

融点・凝固点

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

引火点

データなし

自然発火温度

データなし

燃焼性(固体、ガス)

データなし

爆発範囲

データなし

蒸気圧

データなし

蒸気密度

データなし

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

データなし

比重(密度)

データなし

溶解度

データなし

オクタノール・水分配係数

データなし

分解温度

データなし

粘度

データなし

粉じん爆発下限濃度  
最小発火エネルギー  
体積抵抗率(導電率)

データなし  
データなし  
データなし

10. 安定性及び反応性  
安定性  
危険有害反応可能性

法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる加熱すると分解し、有毒で腐食性のヒュームを生じる。強力な酸化剤であり、可燃性物質や還元性物質、有機化合物と激しく反応して、火災や爆発の危険性をもたらす。塩基性物質と激しく反応し、可燃性で爆発性のガスを生成しながら金属を腐食する。有機物と激しく反応する。

避けるべき条件  
混触危険物質  
危険有害な分解生成物

加熱、光  
塩基、還元性物質、金属類、可燃性物質  
窒素酸化物、水素ガス

11. 有害性情報  
急性毒性 経口  
皮膚腐食性・刺激性

ラット LC50=49 ppm/4hr  
ヒト：重度の損傷性

眼に対する重篤な損傷・刺激性

ヒト：回復性のない角膜混濁から失明

呼吸器感作性又は皮膚感作性  
生殖細胞変異原性  
発がん性

呼吸器感作性：データなし 皮膚感作性：データなし  
復帰突然変異原性試験(エームス試験)：陰性  
データなし

生殖毒性  
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)  
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)

データなし  
(硝酸)呼吸器  
(硝酸)呼吸器、歯

吸引性呼吸器有害性

データなし

12. 環境影響情報  
水生環境急性有害性  
水生環境慢性有害性

魚類(カダヤシ)LC50 = 72 mg/L/96hr  
データがなく分類できない。

13. 廃棄上の注意  
残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

汚染容器及び包装

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従う容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意  
国内規制 陸上規制情報

毒劇法の規制に従う。  
消防法の規制に従う。  
船舶安全法の規制に従う。  
輸送禁止

海上規制情報  
航空規制情報

特別安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
重量物を上積みしない。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法  
労働安全衛生法

劇物(法第2条別表第2)(法令番号:2-65)  
名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)  
硝酸(区分内番号307)

化学物質管理促進(PRTR)法

非該当

水質汚染防止法  
消防法

有害物質 硝酸  
非該当

船舶安全法  
航空法  
港則法

腐食性物質  
腐食性物質  
腐食性物質

16. その他の情報

参考文献

各データ毎に記載した。